

# 2022年度 石狩西部広域水道企業団 地球温暖化対策実行計画の進捗状況

## 1 二酸化炭素の排出量の推移

当企業団の事業実施に伴う二酸化炭素排出量の推移は、図1のとおりです。

2022年度は、二酸化炭素排出量が774t-CO<sub>2</sub>となり、基準年度に比べ134t-CO<sub>2</sub>減少（▲14.7%）し、中間目標年度の排出量（829t-CO<sub>2</sub>）を下回りました。

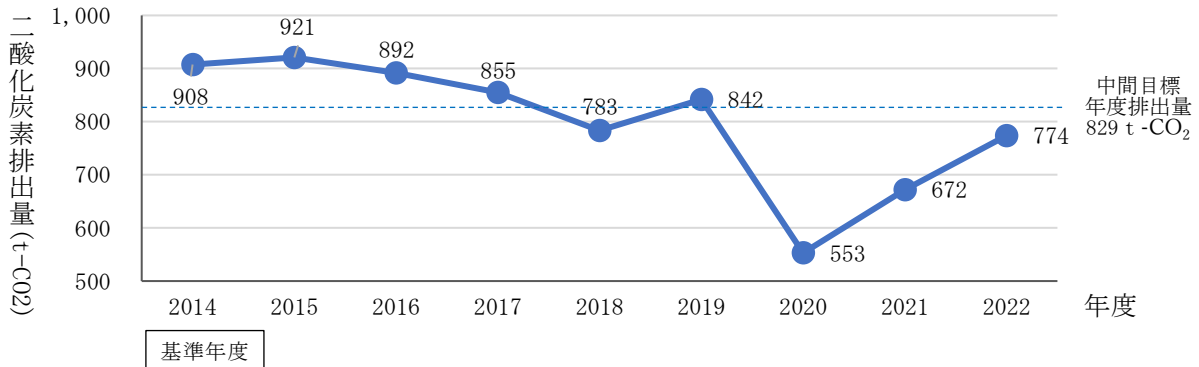


図1. 二酸化炭素排出量の推移

表1. 中間目標と取組実績

実行計画		区分		2022年度実績
基準年度(2014年度)排出量(A)	908	排出量(B)		774
削減目標	削減量	79	削減量(A-B)	134
	削減率	9%	削減率((A-B)/A)	14.7%
中間目標年度(2024年度)排出量	829			

※「排出量」は、二酸化炭素排出量を指し、単位は t-CO<sub>2</sub>。

※小数点以下を四捨五入して表示しているため、削減量や削減率は、表の数値による計算結果と一致しない場合があります。

## 2 電気使用量の推移

当企業団の水道施設における電気使用量及び送水量1m<sup>3</sup>当たりの電気使用量の推移は、図2のとおりです。

2022年度の電気使用量が前年度（2021年度）や前々年度（2020年度）に比べて減少した一方で、1に記載のとおり二酸化炭素排出量は増加しており、これは、当企業団の電力購入先の電気事業者における排出係数\*が上昇したことによるものです。

\*電気事業者が小売りした電気の発電に伴い排出した二酸化炭素排出量。単位は t-CO<sub>2</sub>/kWh。

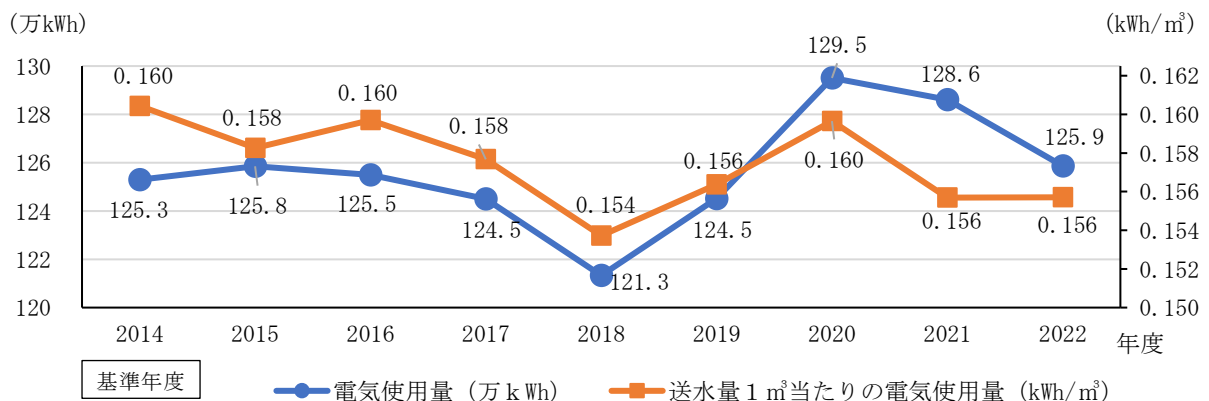


図2. 電気使用量の推移

### 3 2022年度における要因別の二酸化炭素排出量の割合

エネルギー種別の二酸化炭素排出量は図3のとおりであり、91.4%が電気利用により生じています。

また、施設別の二酸化炭素排出量は図4のとおりであり、ポンプ設備を備えた当別浄水場及び当別分水施設からの排出量が全体の約9割を占めています。

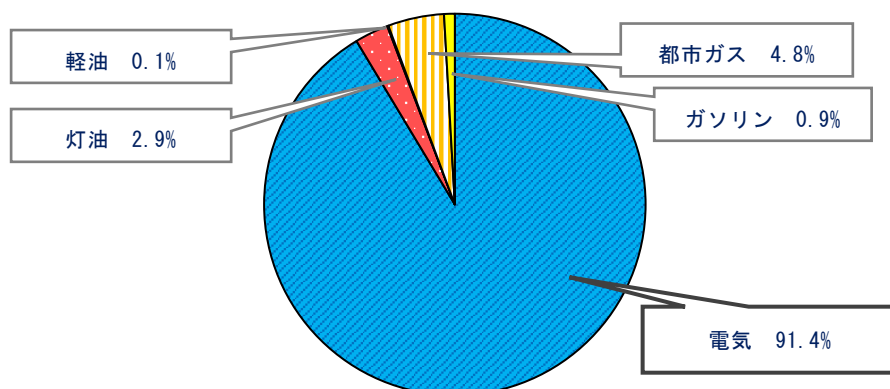


図3. 二酸化炭素排出割合(エネルギー種別)

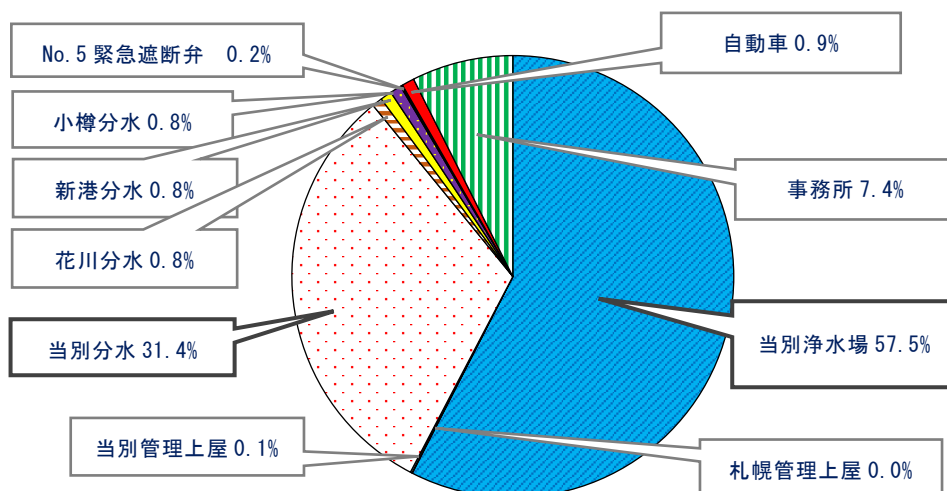


図4. 二酸化炭素排出割合(施設別)

### 4 実行計画に基づく主な取組

#### ○電気使用量の削減

- ・ 浄水施設及び分水施設に係る運転管理の効率化及び適正化に取り組むとともに、水道施設の運転管理業務受託者に同様の取組を要請しました。
- ・ 不必要な照明の消灯や、パソコン・コピー機の省電力機能の有効活用等の節電に取り組むとともに、水道施設の運転管理業務受託者に同様の取組を要請しました。

#### ○ガソリン使用量の削減

- ・ 効率的な公用車の使用や、エコドライブを実践しました。

#### ○灯油・ガス使用量の削減

- ・ クールビズ及びウォームビズを推進しました。

### 5 今後の取組

2022年度は、二酸化炭素排出量が基準年度と比べて14.7%減少し、中間目標（基準年度比9%削減）を達成しました。

要因別の二酸化炭素排出割合の傾向を踏まえ、企業団職員による取組を徹底するとともに、引き続き、水道施設の運転管理業務受託者に対しても本計画に基づく取組を要請し、二酸化炭素排出量のさらなる削減を目指します。